

山口直哉さんへ播磨町ふるさと賞を贈呈

第20回アマチュア竜王戦全国大会で3位(兵庫県大会では優勝)の成績を収められた山口直哉さん(高校3年生)に、7月23日(月)、町長からその栄誉をたたえて「播磨町ふるさと賞」が贈呈されました。

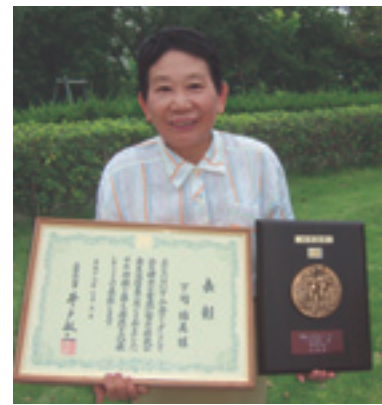
小学3年生から将棋を始め、様々な大会に出場して好成績を収めてこられた山口さん。贈呈式後の町長、教育長との懇談では「全国大会の準決勝では一瞬のミスで負けてしまい油断大敵だと実感したが、3位決定戦では勝つことができて良かった。」



▲平成13年には、播磨町文化奨励賞も受賞されています

いつかはアマチュア竜王戦でトップにたいたい」と、試合の感想などを語ってくれました。

播磨町いずみ会グループリーダー 下司 福美さんが県知事表彰を受けられました



▲食について学んで伝える活動です

30年の長きに渡って食生活改善推進員(いずみ会リーダー)として、勉強を重ねて料理講習会を通じて普及活動をしてこられた下司さんの功績に對し、兵庫県知事賞が贈られました。

活動の中で伝えたいことを尋ねると、「手作りの食事が一番だということとを伝えたいです。最近、気掛かりなのは野菜が足りていない人が多いということ。1人400g必要なのですが、ちゃんと野菜を食べていますという人でも、実際に計量をしてみてもいい。意外に食べていないことに気付くと思います」と話されました。

今後多くの方の健康的な食生活への改善のために活動を続けられます。

東播磨ふれあいネット (BAN-BANテレビ 11チャンネル)
播磨町・稲美町・加古川市・高砂市の情報番組です。

9月の放送予定 (収録場所 播磨町)

前半 9月3日(月)~16日(日)

- 特集 いなみ文化の森が15周年を迎えます(稲美町)
- ふれあいインフォメーション(各市町からのお知らせ)

後半 9月17日(月)~30日(日)

- 特集 ペットを正しく飼いましょう(加古川市)
- ゆうゆうライフ(高砂市)

放送時間(第1・3月曜日の①以外は再放送) 30分番組

- 月・水・金 ①午前10時 ②午後5時 ③午後10時
- 火・木 ①正午 ②午後7時
- 土・日 ①午前9時 ②午後6時 ③午後11時

いいね!
はりま

町政
レポート
No.8



▲ふるさと賞を山口直哉さんに贈呈

立秋は過ぎましたが、まだまだ暑い日が続いています。でも、夜になると涼風とともに、どこからか虫の音が聞こえてきたりして、季節は確実に移り変わっています。今年は考古博物館の出現で遺跡周辺の虫たちも驚いているかもしれませんね。播磨町の新しい歴史の1ページとなる開館はもうすぐです。

7月21日(土)、図書館まつりが開催されました。400人以上の親子連れがボランティアの人形劇、パネルシアター、お話、紙芝居などを楽しみました。私も一緒に拝見させていただきましたが、大人でもつつい引き込まれてしまうほどの熱演でした。子どもたちの目もいきいきと輝いていました。今回が10回目ということですが、指定管理者の積極的な取り組みとボランティアの皆さんの熱心さがステキなハーモニーを奏でている図書館まつりでした。播磨町の子どもたちがこれからたくさんの本に出会えますように。

将棋の第20回アマチュア「竜王戦」に県代表で出場、見事全国3位になった山口直哉さんに播磨町からその栄誉を称え「ふるさと賞」を贈りました。高校3年生には思えないとても落ち着いた好青年でした。目下、大学受験に向けて受験勉強もがんばっているということでしたが、将来どんな道を選択されるか楽しみです。努力に加えて、天から与えられた才能を大切にしてくださいと思います。将棋愛好家も播磨町民も応援しています。

7月28日(土)、浜田球場をメイン会場に夏まつりを開催しました。まつりの準備、イベントや総踊りなど多くの方々にご参加いただき、夏まつりを盛り上げていただきありがとうございます。毎年アイデアとその熱演ぶりで会場を大いに沸かせる仮装大会。今年も鬼太郎やジョセフ彦今里伝兵衛、陣内・紀香さんなども登場して楽しませていただきました。子どもたちの演技や個人参加の腹芸もお見事でした。来年も楽しみにしています。

播磨町長 清水ひろ子

わんぱくはりまっ子



ただともひこ
多田 智彦くん(3歳)
上野添

ごはんをいっぱい食べて元気に育ってね
お父さん・お母さんより



このコーナーに出ただく「わんぱくはりまっ子」を募集しています。(未就学児) 広報担当まで電話を。またスナップ写真を送ってもらってもけっこうです。

ペーパーウエイト当選者発表

去る7月28日(土)、播磨町夏まつり会場の加古郡リサイクルプラザ「ゴミの分別」及び消費者協会「プラごみの分別」コーナーでの、ペーパーウエイト当選番号は次の通りです。

- 12、13、22、33、430、468、497、516、518、555、573、588、607、653、684、695、720、730、733、751、758、759、781、787

まだ受け取っていない人は、健康安全グループでお渡していますので、引換券を持って窓口にお越しください。
健康安全グループ ☎079(435)2721

夏まつり暑い中でも大盛況
2万2千人が楽しみました



▲たこのつかみ取りも人気

7月28日(土)、恒例の夏まつりが浜田公園で催されました。すっかり定着した雪あそびのコーナーは、整理券を求めず並ぶ列ができるほどの人気で、ずぶぬれになりながらも冷たい人工雪でちいさな雪だるまを作ったり、降ってくる雪を両手や帽子で受け止めながらあちらこちらで歓声があがっていました。

ステージでは、様々な団体が登場し、ダンスや演奏、そして創意工夫を凝らした仮装大会などで会場を湧かせていました。また、朝から厳しい暑さとなったため、模擬店でカキ氷や冷たい飲み物が多く、どのテントも汗だくになりながら、大忙しのようでした。



▲模擬火災訓練

平成19年度第1回
女性消防団員研修会に参加

7月14日(土)三木市にある県広域防災センターで女性消防団員の研修会がありました。播磨町消防団から女性分団員5人が参加しました。午前中は福岡県立花町消防団長の講演、豊岡市出石消防団、丹波市消防団の活動事例発表、午後からは雨の中訓練礼式、実際にホースから水を放水する模擬火災訓練、小型ポンプ放水訓練に参加しました。

親子で楽しむ町内の文化財 パートⅡ

6 野添城・古代の大路

今月は城池の堤防を紹介します。
現地へ行って、周りを見ても、今では、どこが堤防で、なぜこれが古代の大路の跡なのか、なかなか分かりにくいでしょう。



▲かつてこの道は奈良に続いていた



- ① 地名が「城」だから
- ② 昔から言い伝えがあるから
- ③ 古代の道が直線だったから

「クイズ」
ここに、古代の大路（高速道路）古代山陽道が通っていたといえる理由はどれでしょう。

「歴史の宝宝箱」と言われている播磨町。町の面積は狭いけど、文化財の数は多く、少し歩けばそこかしこに、地域の人びとが昔から大切に受け継いできたものがあります。そのような街角の文化財を紹介していきます。

【問い合わせ】郷土資料館 079(435)5000

国道2号線とJRとが交差する跨線橋から浜手を見下ろすと、小さな池が見えます。城下池（現在の城池）です。以前は、この跨線橋のすぐ下にも池があり、城上池といわれていました。上池と下池とは堤防で分けられていました。

さて、この2つの池を分けた堤防が古代山陽道の跡だと考えられています。理由は、古代の山陽道の邑美駅家（明石市）と賀古駅家（加古川市）とを結ぶ直線に重なるからです。

邑美駅家と賀古駅家とを定期で結ぶ線に沿って、今各地で道の跡が発見されています。さらに、明石市福里の池の中にある堤防や、土山にある加古川市と播磨町との境の直線とも重なります。そして、この城池の堤防とも重なります。

奈良時代にはかなり整備された道が、奈良から北九州までつくられました。馬を乗り継いで、当時最も早く奈良と九州とを結ぶ高速道路としてです。その道がここを通っていました。

播磨町は今でも東西交通の要で新幹線はもちろん、様々な東西を結ぶ道が町を通っています。

古代も同じで、海上の道も陸上の道もこの町を通っていました。



●クイズの答 ③ 古代の道が直線だったから



町の人口 8月1日現在 (住民基本台帳人口+外国籍人口)
34,331人(+43人) 男...16,813人(+20人) 世帯数...13,250(+29)
女...17,518人(+23人)